

GREEN RANGER NEWS

2022年11月号 Vol.343



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■10月の活動報告

10月8日(土)[柴田町「あそびのワンダーランド」に参加]

柴田町の船迫公民館で開催の「あそびのワンダーランド」に、今年も参加しました。会場には木のおもちゃが沢山並び、絵本の読み聞かせやボードゲーム、おもちゃ病院、消しゴムはんこのバッグ作り、そして当会の木の実や枝を使った木工と、まさに、あそびのワンダーランドとなりました。

コロナ感染予防のため人数制限があり、参加者は52名と少なめでしたが、スタッフとその家族28名を合わせて80名が集まりました。木工は木の実や枝を好きなだけ使えるため、毎年好評です。いつも木の実の入れ物に苦勞するのですが、今年は大皿に盛ってみました。なかなか良いアイデアでしょう？森にいる雰囲気味わってもらえるよう鳥の声を流しましたよ。作品の数々をご覧ください。



この棒を使いたいの



色んな作品ができました！

10月9日(日)[ヤマハンノキ間伐、自然観察]

今日は彩遊の森の間伐作業。チェーンソーの音を聞くといかにも自分が伐採してるかのような感覚になる。1本倒すごとに少しずつ空が見え明るくなる。その陽射しを浴びて、伸び悩んでいた広葉樹たちが顔を上げてくれるのを祈る。間伐されたヤマハンノキと、自然に立ち枯れたヤマハンノキに感謝である。もっとも、間伐や枝払いをするのはヤマハンノキだけではない。どうしてもこちらの木を生かすために隣りの木を間伐したり、込み入った枝を払ってゆったりと気も使う。全てが荒れ地に植林され、根付いて伸びてきた樹木なのでいとおしい。



間伐された・立ち枯れたヤマハンノキ

午後、動物の観察動画を観て解散となり、少し、散策をしてみた。リスの撮影のためにクリの実などを餌台に置いてあるのだが、手を付けた気配がない。近くのクリの木の下には、足の踏み場もないくらいイガが落ちているが、中身はない。今年はブナを除いて、クリやミズナラ、コナラが豊作のようで余裕があるらしい。また、前回アケビをどの動物が食べるかと設置したカメラに反応がないので、別の場所のアケビに変更した。参加者：10名

10月23日(日) [ヤマハンノキ間伐、自然観察]

今日の間伐作業、アナグマの森だ、着くなりチェーンソーの音が森中に響き渡る。ヤマハンノキの倒す場所を見切り、意外と簡単に切り倒したり、ロープで倒す位置に誘導して気を使いながら切り倒したりと多様である。とにかく、成長させようとする樹木を傷つけては身も蓋もない。ヤマハンノキが倒れるたびに、ブナたちがグンと空を見上げてる様に見えるのは思い込みか。アナグマの森は彩遊の森と土壌が違い、植林した時期は遅いが成長は早く、より高木になっている。その分、枝葉の処理も多くなるが、その分の光が射して来ることを思えばノコギリも軽やかに挽ける。そして土に還り、よりふかふかの、より豊かな土壌を作ってほしいという厚かましい願いを込める。



間伐、アナグマの森

午後は彩遊の森を散策しながら、次回の枝打ち作業手順などを確認する。よくよく見ると、よくもまあどうしたらこんな格好になるんだろうと思う枝がいっぱいある。次回を楽しみにしております。

参加者:5名

10月29日(土) [森づくりイベント開催]

東邦運輸倉庫(株)品質管理部の6人の皆さんが、枝打ちのボランティアにいらっしやいました。コロナ感染予防のため、今年度は森づくりイベントの計画はありませんでしたが、感染が落ち着いてきたこともあり久々のイベント開催となりました。



東邦運輸倉庫さん、枝打ちに挑戦

作業小屋近くの彩遊の森で、初めての鋸や高枝鋸を手にして、次々に枝打ちに取り組んで頂きました。太い枝に挑戦した方は、翌日に腕の痛みが出たのではないのでしょうか。皆さんの頑張りのお陰で、森が明るくなりました！

昼食後は動物の動画の鑑賞会。アナグマやクマやイノシシに驚いていたようです。リスが走り回る様子も楽しんで頂きました。ぜひ来年もいらしてください。(参加者:10名)

■今後の活動案内

[例会]

日 時 11月13日(日)10時

場 所 作業小屋

内 容 作業小屋、物置小屋の大掃除、理事会、自然観察

[海岸林]

日 時 11月27日(日)10時

場 所 荒浜海岸公園センターハウス前

内 容 荒浜海岸林の手入れ(ラウンドアップでクズの処理) 定点撮影